

なぜ？ 大事な同対
事業の中で

20年近くも土地代金を徴収しなかったか

11月2日、土地代金も徴収せず、売買契約も定かでないにもかかわらず、町有地のまま住宅が建設されたり、庭石や車庫が設置されている問題で、議員2人を含む住民10人が山本町長に約1億6千万円の支払いを求める住民監査請求の意見陳述が行なわれました。その概要を紹介します。

アカンもんは アカン

中田要治議員は次の要旨で述べました。

同和对策やゆづても、どこから見ても常識では通らないことは許されない。売買契約というのは代金を払い込んで所有権移転手続きし、完了ですわ。それが土地代金も払っていないのに住宅を建てさせる。さらに20年近くもほったらかし。山本町長は何にもしていないに等しい。このさい、アカンもんはアカンでスッキリ監査結果を出していただきたい。

また、左記は西澤議員の陳述メモからの抜粋・要約です。

西澤議員は、この監査請求を提出しようと考えた強い動機を次のように述べました。

同和对策事業の中でも中心の中心、住環境整備・格差の是正、不良住宅の除却に留まらず、「地区」住民の持ち家願望を支援し、住民の自立を促進する事業。そのなかで不正や利権がまかり通るような事態を放置しておけば「同和对策事業」そのものが否定的批判を受ける。

部落問題の解決は歴史的に人為的に権力者によってつくられ、残渣としてこびりついた差別を、住民間の納得と合意・自主的交流を通して解消するもの。また、差別の根源となっている貧困など、根本問題を解決する事にあります。

同時に法が終了し、実態上も「部落」を問題にする必要のなくなった良き時代に入りつつあります。

にもかかわらず、利権にむら

がり、「同和」を食い物にしている「ごく一部幹部の横暴・威圧が「同和问题」解決に逆行している現状を一掃する必要があります。町有地不正占有問題に「けじめ」をつけることが、とりわけ、この甲良町で必要だと強く思ったからにほかなりません。

町長の権限と責任を 果していない

つづいて山本町長の責任について次のように述べました。

山本町長は自ら「議員時代を含めると34年の長きにわたり甲良町の地方政治の中枢にこの身を置いた」と認めている。

平成16年9月17日、本会議で西澤議員の「財産管理がルーズになっている」との質問に答えて、「事業を進めていく中で、地区内に残地が残ったり、残地の払下げをめぐって、いわゆる希望者がいろいろ希望を述べ合っ、なかなか整理がつかない。そいつつた中で、十分、町有地が、事業用地が整理できていないということは認識を

しておりました。」と答弁。毅然として代金請求出来ない理由(わけ)が存在すると見ざるを得ません。

「窓口一本化」 の弊害

このような現状を議会議員の時代から山本町長は「解放同盟」の役職につき、呉竹支部の支部長も歴任しており、「甲良町の地方政治の中枢に」深く、且つ長期にかかわっているから、解決のため何ら方策を実行してこなかった責任は免れ得ません。同和对策事業を部落解放同盟が実質上牛耳る同和对策促進協議会に権限などをあたえる「窓口一本化」の弊害が整理・克服されないまま今日に至っており、全くの無反省がもたらした明確な失政と言わざるを得ません。



日本共産党は次の見解を発表しました。

新町長のもと 臨時議会 21日の予定

新町長への質問時間設定を

16日開催される議会運営委員会の案内文によれば、21日には臨時議会が召集される予定となっています。山崎新町長のもとでの初めての議会で、新町長と議会議員の対応が注目されます。

西澤議員は、来る議会運営委員会で、山崎町長の選挙公約や所信表明などについて質問・答弁の時間を設定するよう求める予定としています。

甲良民報

2005年11月13日 No302
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在士463
Tel.Fax38-4949
Eメール info@jcp-nobuaki.com
のぶあきホームページ
http://www.jcp-nobuaki.com/